



いない! いない! ばあっ!



もも組クラスだより

No.3 R8.7.1



じめじめする季節になりましたね。雨の日も多くなります。お部屋の中でふれあい遊びや、様々な玩具に触れたり、体を動かして過ごせるように工夫もしたりしながら、一緒に楽しんでいきたいと思います。また、梅雨の晴れ間に、外の空気に優しく触れながら、季節の移り変わりを感じて楽しんでいきたいです。

また衣服の調節や、こまめな水分補給を行って、体調管理に十分留意しながら元気に過ごせるようにしていきたいです。



～指差しをする姿が見られるようになりました～

指差しを始めたことは、周りにあるものを認識し始めたサインです。月齢が上がるにつれて、指差ししながら共感を求めたり、『あれがほしい』『これが食べたい』などという要求を示したり、言葉の代わりに使うようになります。子どもから何かを指差した時は、「～だね」など反応してあげると、目の前のものと言葉を結びつけることができ、言葉の獲得にも繋がっていきます。園では『ちょうだい』という、持っているものを持ってきてくれたり、簡単な言葉を理解してしぐさで表現したりして保育者とのやり取りを楽しんでいます。ぜひ、お家でも今しかできない可愛いらしいやり取りを楽しんでみてください。



いないいない



ばあっ!

ブ～ン



～歩くようになりました!!～

歩く姿が見られるようになって、嬉しそうに満面の笑みを浮かべ何度も挑戦しようとする姿に大きな成長を感じています。運動機能が発達し、ハイハイから歩行へと移動手段が変わり目線が高くなったことで、高い所に上がってみようとする姿も見られるようになりました。どんどん動けるようになっていきますね☆



～様々な遊びに興味を示すようになりました～

歩き始めたことで視野が広がり、最近では、ボールやブロック、様々な玩具に触れて遊ぶ姿が見られるようになり、指先を使ってじっくりと集中して取り組んでいる様子も見られるようになってきました。「つまむ」「いれる」「ねじる」などの動作は、指先だけでなく、手首のコントロールや「目を見た場所に手を動かす」という認知能力が育ちます。また、ブロックなど「あわせる」動作が加わることで、手の器用さだけでなく、空間の認識や図形の形をとらえる力が高まります。遊びをたくさん楽しませながら脳の発達の他、手先の器用さや集中力を高める力を育てていきたいです。